

## 0.1 タイムスタンプ付与モジュール

以下に、モジュールの仕様概要と操作手順を示す。

表.1 モジュールの仕様概要

No	項目	内容
1	DLL 名	McSetTimeStamp.DLL
2	概要	未来／過去のタイムスタンプを付ける。
3	送受信のパターン	受信 ①任意値 伝送仕様：1次元時系列データ セル内変数：ANY_VALUE (-)
		送信 ①任意値 伝送仕様：1次元時系列データ セル内変数：ANY_VALUE (-)
4	接続方法	受信 ・要素接続は、1次元時系列で行い、任意値を入力する。 ・上記以外の接続は、できません。
		送信 ・要素接続は、1次元時系列で行い、任意値が出力される。 ・上記以外の接続は、できません。
5	基礎式	なし
6	備考	
7	サンプルプロジェクト	・タイムスタンプ付与モジュール.prjdb

(1) タイムスタンプを付与しての出力パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

カテゴリーが入力要素の流量入力モジュールを設定

項目	内容
名称	流量入力モジュール
概要	流入量・放流量 (wisef or csv形式のファイル) を入力する。

カテゴリーが演算要素のタイムスタンプ付与モジュールを設定

項目	内容
モデル名称	タイムスタンプ付与モジュール
作成者名	CommonMP モデル開発者
バージョン	Ver1.0
概要	未来/過去のタイムスタンプを付ける。

カテゴリーが出力要素の CSV 時系列ファイル出力モデルを設定

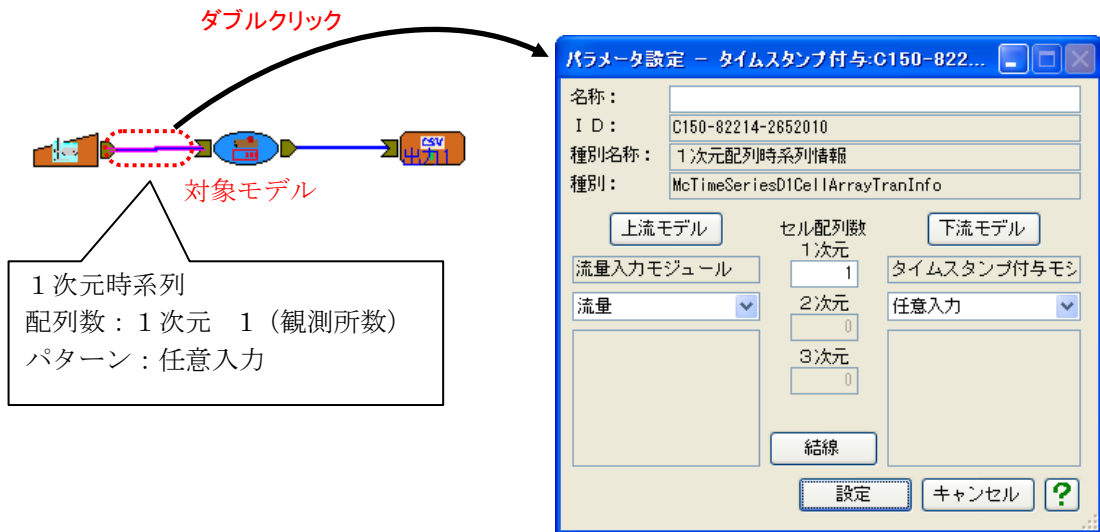
項目	内容
名称	CSV時系列ファイル出力
概要	1次元時系列・2次元時系列・3次元時系列データをCSVファイルとして出力する。

対象モデル

図.1 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。

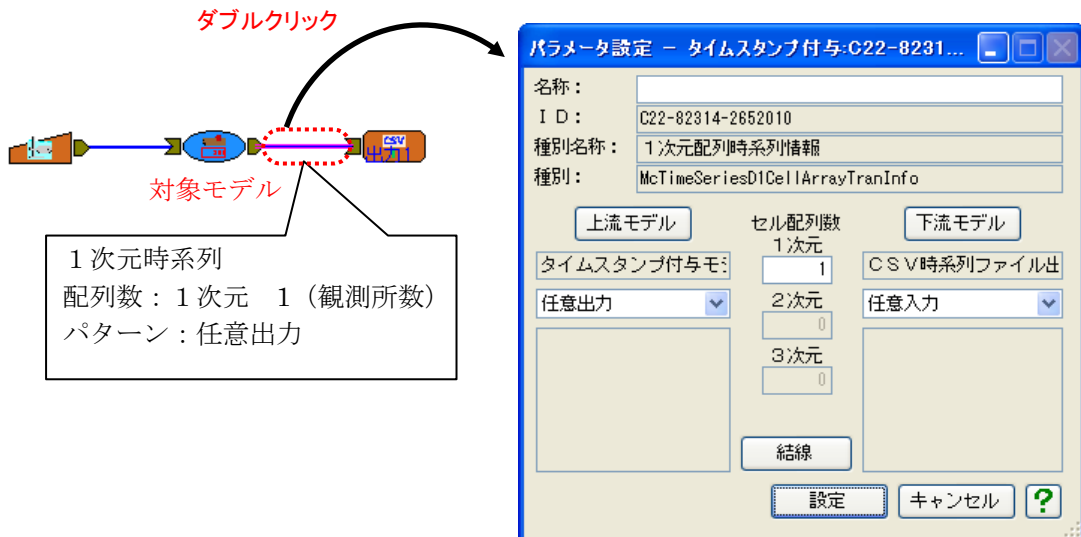
【受信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または  
右クリックメニューから表示を行う

図.2 要素接続 (受信側)

【送信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または  
右クリックメニューから表示を行う

図.3 要素接続 (送信側)

---

2) パラメータ設定画面

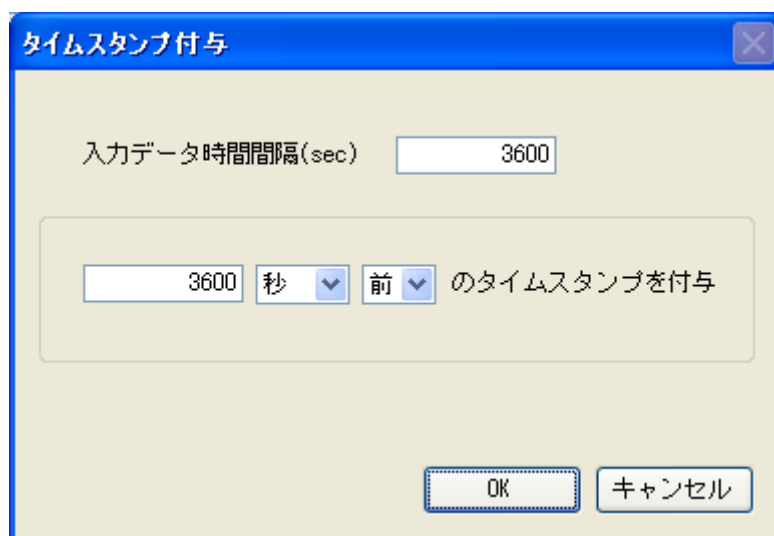


図.4 個別 GUI レイアウト図 (タイムスタンプ付与モジュール)

---

### 3) 入力データ

1次元時系列の任意値データを入力する。

時間	観測所 1
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value="任意値"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
:	:
:	:

図.5 入力データフォーマット

### 4) 出力データ

1次元時系列の任意値データが出力される。

時間	観測所 1
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value="任意値"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	<input type="text" value=":"/>
:	:
:	:

図.6 伝送データイメージ